

教団新報

定 価 1部180円(本体164円+共243円)
予約購読料 1年分 千共 5,350円
紙代のみ 3,750円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
URL <http://uccj.org>
発行人 秋山 徹
編集主筆 嶋田 恵 悟
印刷所 株式会社きかんし



浅草教会 (東京教区)

「シモン、シモン、サタンはあなたがたを、小麦のようにふるいにかけることを神に願って聞き入れられた。しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」するとシモンは、「主よ、御一緒になら、牢に入っても死んでもよいと覚悟しております」と言った。イエスは言われた。「ペトロ、言っておくが、あなたは今日、鶏が鳴くまでに、三度わたしを知らないと言うだろう。」

(ルカによる福音書22章31～34節)

神は、わたしの福音すなわちイエス・キリストについての宣教によって、あなたがたを強めることがおできになります。この福音は、世々にわたって隠されていた、秘められた計画を啓示するものです。

(ローマの信徒への手紙16章25節)

迫害者であったパウロにも示された神の福音は、今やパウロの宣教を通して、人々を力づけるものとなっているのです。神さまがそうなさるのです。福音は、もはや隠されてはいません。す

べての異邦人に、つまり全人類に知られるようになります。だから、この地の果ての日本にいて、私たちは救いのみ言葉を聴いているのです。贖いの主が、今、十字架へと進みゆかれます。

人々を力づけるもの

あなたのために主は十字架にその命をささげ、三日目に、その死に勝利してくださいます。だから、私たちはたすくことがあっても、完全にダメになることはありません。主の贖いの恵みが、どん

な時にも、どんなところからでも立ち上がらせてくださいます。だから、「あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい」と私たちも召されているのです。
「わたしたちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にあるように」(16・24)。
(浅草教会牧師)

「立ち直ったら」とイエスさまが仰るのだから、私は立ち直ることが出来るということですね。体調を崩して礼拝出席が叶わず、文書で送った説教を読んだ教会員からの喜びの声でした。聖書は神の言葉であり、語られた説教は命の言葉となるのだということ、また確信させられました。

私が高校卒業の時、生まれ育った家を離れる時に、祖母から貰った口語訳聖書の見開きには「最後に、恵みにより召

「神は、わたしの福音すなわちイエス・キリストについての宣教によって、あなたがたを強めることがおできになります」(16・25)。

「強めること」＝「力づける」という言葉です。イエスさまが十字架の前にペトロに言われた言葉を探ります。ルカ22章32節「しかし、わ

たしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい」。

そして、使徒言行録に沢山出てきます。例えば、「パウロはシラスを選び、兄弟たちから主の恵みにゆだねられて、出発した。そして、シリア州やキリキヤ州を回って教会を力づけた」(使徒15・40、41、他18・23)等。

「強めること」＝「力づける」という言葉です。イエスさまが十字架の前にペトロに言われた言葉を探ります。ルカ22章32節「しかし、わ

わたしの福音

「立ち直ったら」とイエスさまが仰るのだから、私は立ち直ることが出来るということですね。体調を崩して礼拝出席が叶わず、文書で送った説教を読んだ教会員からの喜びの声でした。聖書は神の言葉であり、語られた説教は命の言葉となるのだということ、また確信させられました。

「強めること」＝「力づける」という言葉です。イエスさまが十字架の前にペトロに言われた言葉を探ります。ルカ22章32節「しかし、わ

たしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい」。

そして、使徒言行録に沢山出てきます。例えば、「パウロはシラスを選び、兄弟たちから主の恵みにゆだねられて、出発した。そして、シリア州やキリキヤ州を回って教会を力づけた」(使徒15・40、41、他18・23)等。

「強めること」＝「力づける」という言葉です。イエスさまが十字架の前にペトロに言われた言葉を探ります。ルカ22章32節「しかし、わ

「強めること」＝「力づける」という言葉です。イエスさまが十字架の前にペトロに言われた言葉を探ります。ルカ22章32節「しかし、わ

贖いの恵みによって

贖いの恵みであることを知って、私は洗礼を受けました。いや、そのことが嬉しすぎて誰かに伝えたくて、牧師となってしまったのです。主の贖いの恵みはそれ以来、ずっと私を強めて生かす力です。それは、私の罪を赦して神の子とし(義認、私をこの世のあらゆる働きへと遣わす原動力です。そう、聖化の歩みもまた、主の贖いの恵みのだと歳を重ねるごとに身に染みてきました。

「強くなりなさい」は、文字通り訳せば「強くされなさい」(神の受動態であり、自分で強くなれ

つまり、人々を「力づける」ということは、キリストの弟子、使徒たちの使命、教会の使命だということです。パウロはロマ書の最初1章11節でも「あなたがたにぜひ会いたいのは、霊の賜物をいくらでも分け与えて、力になりたいからです」と言っていて、これも同じ言葉です。誰かを力づけることが出来るということは究極の隣人愛の実践なのだと思います。自分が既に「私はこれで力づけられた」というものを持っているからこそ、誰かを力づけることが出来るのです。パウロはここで、「わたしの福音」という不思議な言い方をしています。それは「わたしの福音」だと言うのです。パウロはここで、「わたしの福音」という不思議な言い方をしています。それは「わたしの福音」だと言うのです。

パウロは、この手紙を書き始める時、自分を「キリスト・イエスの僕、神の福音のために選び出されたパウロ」(1・1)と自己紹介していました。自分は、キリストを宣べ伝える「神の福音」のために召し出されたと言っていたのです。でも最後には、それは「わたしの福音」だと言うのです。

パウロは、この手紙を書き始める時、自分を「キリスト・イエスの僕、神の福音のために選び出されたパウロ」(1・1)と自己紹介していました。自分は、キリストを宣べ伝える「神の福音」のために召し出されたと言っていたのです。でも最後には、それは「わたしの福音」だと言うのです。

メッセージ

主の贖いの恵みによって力づけられる

ルカによる福音書第22章31、34節、ローマの信徒への手紙第16章25、27節



篠田真紀子

に言い換えています。それは「わたしの福音」なのです。なぜなら、キリストがパウロに出会ってくださり、呼びかけ、パウロの罪を赦して新しく生かし、そして、キリストがパウロを使徒として立てて、お遣わしになられているからです。つまり、パウロを生かしているもの、パウロを立てているもの、それがキリストの福音なのです。から、それは「わたしの福音」なのです。

「わたしの福音」と言えるほどに、もはやキリストに結ばれて動かされないう風な力づけられています。パウロの力強さ、キリストに結ばれていることの力強さはパウロの手紙のあちこちに見出すことが出来ます。例えば、コリント24章「わたしたちは、憐れみを受けた者としてこの務めをゆだねられているのですから、落胆しません。四方から苦しめられても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず」。

お知らせ
「教団新報」今号を4993・94合併号とし、次号は、4月22日に発行します。
総幹事 秋山 徹

新型コロナウイルス
感染拡大渦中で

寄場からの声に聞く

野宿者を支援する会 《笹島》

コロナ禍での支援活動

私は愛知県名古屋市中で炊き出し・野宿者支援活動を行っているささしま共生会という民間の支援団体の一員です。この支援団体の炊き出しの歴史は長く45年以上になります。

私はこの支援団体の中で一軒の木造二階建て古いアパート「三ツ木荘」ミツキソウ・12部屋」の管理を任されています。三ツ木荘に入居を希望される野宿の方の入居のお手伝いを行い、生活保護申請等の手続き、生活支

援、その後の一般的な民間アパートへの転居などの支援を行うことが私の本来業務です。

ところがコロナ禍になり入居者が転居することがほとんどできな状況になってしまいました。その理由は、役所の転宅のための調査である部屋への訪問をコロナが猛威を振るう状況ではできないからというものでした。それまでは入居後1年で役所の了解が得られれば古い三ツ木荘よりずっと条件の良い住居に

転居することが出来ましたが（入居・転居の費用が生活保護費の範囲内である）、転居する人がいないために私は新しく入居者を探すことがほとんど無くなってしまいました。しかしその分炊き出しの活動が忙しくなってきました。ささしま共生会の炊き出しは名古屋市の中心部で月・木の毎週2回夜に行われ、このところの利用者数の平均は120人程度です。

コロナ禍に入ってから利用者数は実は少し減っています。人が多く集まる炊き出し会場を恐れ利用しなくなった高齢の方々がいます。そして顔ぶれは少しずつ変わり、利用者の年齢が若くなってきている感じがします。野宿ではないが一食に事欠く人が増え、また新たに野宿に追い込まれた人たちが炊き出しの列に並んでいます。

路上に投げ出され困窮する人たちにに対して、私たちは小さな支援しかできません。炊き出しは食事ができるという人への提

供するその時その時の緊急的な支援にすぎません。翌日にはまたお腹が減って困窮してしまいます。ですから困っている人を公的な支援（生活保護など）に繋ぐのが私たちの大切な働きです。そして炊き出しの場は当事者の方が安心して相談ができるように私たちが食事以上のものを



毎週2回の炊き出し

第49次寿越冬闘争 《寿》

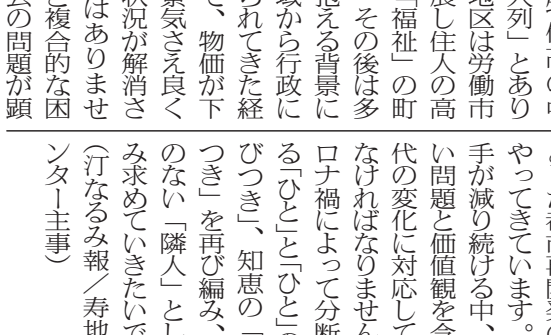
町の隣人とともに

寿地区で1974年から始まった皆で冬を越える寿越冬闘争も第49次になりました。住民自治からはじまり時代とともに担う人々も移り変わっていつ

たが、「ともに生きる」「厳しい冬（困難）を生き越える」という考えは変わらず営まれています。新型コロナウイルス感染症が世に広がり3年。今回の第49次はちょうど感染者数のピークにあたり、感染症対策や支えるボラン

ティアが集まらない懸念がありました。そのため、本部テントを1基分省き、医療班が新型コロナウイルスの抗原検査ができるように別途簡易テントを増設しました。準備・撤収を含め20日間の期間中累計で960人の参加者によって支えられ無事終えることができました。

ボランティアだけでなく、全国から献品・献金を送られ「寿地区」とその活動にお心を寄せて頂いたことがひとつの形になり感謝いたします。人



強制排除反対デモ

あいりん総合センター《釜ヶ崎》

ダイバーシティ（一人一人の多様な生き方が尊重される）
社会の真の実現を目指して

に裁判（センター追い出し訴訟）を起こしたのですが、この裁判に対する判決が、2022年12月14日、大阪高裁（太田晃詳裁判長）で言い渡されました。大阪高裁の判決内容も、2021年12月2日に、大阪地裁（横田典子裁判長）が出した判決内容と同様に、22名の労働者に立ち退きを命じるものでしたが、大阪府側が求めていた仮執行宣言（強制排除）は、地裁判決と同様に認めませんでした。この判決の結果、当面の間は、センター周辺では、常時20名から30名ほどの労働者が、センター周辺から追い出されることなく野宿生活を続けることが出来るようになったわけです。

大阪高裁の判決当日には、「今度こそ、裁判所は強制排除は認めるだろう」ということで、大阪府の職員等が大半して傍聴に来ていましたが、結局、大阪高裁の判決でも、裁判所は強制排除は

認めなかったのです。大阪府の起こしたセンター追い出し訴訟の野宿者側の弁護士の一人名である、遠藤比呂通弁護士は、大阪高裁での判決が言い渡される直前に、「裁判所は、ホームレス状態にある人たちの占有の正当性は認めていません。しかし、彼らの事情を考慮し、排除の流れに乗らなかつた。このような決定を下したのは初めてなんです」というコメントを残しています。

「強制排除を認めない」という画期的な判断を下したのは裁判官ですが、私はそこに「強制排除」という不正義な行為を許さない」という神様の意思が働いたからこそ、裁判官は「強制排除を認めない」という判断を下したのだと改めて思っています。

野宿者側が上告したため、センター追い出し訴訟は最高裁の場で争われることになりましたが、今、釜ヶ崎では2年以上に渡って、センターの強制閉鎖と強制排除に反対する集会とデモが毎月1回続けられていて、私もこの集会とデモには毎回参加していますが、最高裁でも強制排除を認めない判断が下されるよう、引き続きこの集会とデモに参加して声を上げていきたいと思っています。

（大谷隆夫報／釜ヶ崎医療連絡会代表・関西労働者伝道委員会専任者・教務教師）

▼教育委員会▲

クリスマス献金、送り先を確認

第1回教育委員会が、2月22日に教団会議室で行われた。委員は次の通りである。横山ゆずり（委員長）、三ツ本武仁（書記）、石田真一郎、大坪直史、藤巻朋子、堀川樹、リーディー・デイヴィッド。



後列左から、デイヴィッド委員、三ツ本書記、石田、堀川各委員
前列左から、横山委員長、大坪（オンライン）、藤巻各委員

であることが報告された。6月の次回委員会で最終報告を経て、「認定NPO法人チャイルド・フアンド・ジャパン」（ウクライナの子どもたち）、「学校法人アジア学院」（アジア農村指導者養成専門学校）、「北海教区アイヌ民族情報センター」とアイヌ奨学金キリスト教協力会、「東北教区放射能問題支援対策室いずみ」に送金することが確認された。

2022年度の教会学校応援セットの送り先については、Aコース（聖書10冊、こどもさんびか10冊、伴奏譜1冊）、Bコース（聖書物語絵本と紙芝居セット）、Cコース（ホームブレイヤー1台）に1教会ずつ応募があったことが報告された。検討の結果、各教会それぞれに希望コースの応援セットを送ることを決定した。

もキリスト教学校を訪問する方向で検討された。開催日程は2024年2月上旬を予定している。コロナ禍の影響で昨年開催できなかった台湾基

紙芝居セット）、Cコース（ホームブレイヤー1台）に1教会ずつ応募があったことが報告された。検討の結果、各教会それぞれに希望コースの応援セットを送ることを決定した。毎年9月に開催してきた「教区青年担当者会」については、その目的や意義、内容をもう一度考える必要があるのでは、との意見が出された。今年も「教区青年担当者会」を行うことが承認されたが、テーマ等については次回委員会で審議・決議する。また、総会期に一回開催の「教区教育担当者会」については、今回

山谷越冬闘争《山谷》

誰もが利用できるセンターをめざして



センター前路上での餅つき

コロナ感染が始まって3度目の山谷・越冬闘争は例年通り城北労働福祉センター前を拠点に、年末から年始の1週間、日雇い・野宿の仲間を中心に朝夕の食事

と衣類分配、年越しそばなど、みんなで協力してやり切った。ボランティアの友人がキッチンカーでおいしいコーヒーを届けてくれ、鍼灸師の方が昨年同様、ワゴン車の荷

じ取れる企画だった。1月14日には「佐藤さん（38年）・山岡さん（37年）虐殺糾弾集会・デモ」が玉姫公園で行われ、再開

発を口実とした行政当局による野宿者排除と闘っている金ヶ崎や渋谷をはじめ70名の仲間が結集した。

山谷現地は確かに高齢化が進み、かつての寄せ場の様相は影を潜めている。しかし年をとっても玉姫職安やセンターからの仕事で野宿しながら自活する人はたくさんいる。センターはその人たちを排除してはならない。越年後も、仲間たちとくともに、誰もが利用できるセンターへの要求が続く。

▼教師委員会▲

新任教師オリエンテーション二泊三日で開催



後列左から、福島、願念、栗原各委員
前列左から、宮川、内城（オンライン）各委員、兼清書記、古旗委員長

第1回委員会が2月13日に教団会議室で行われた。委員は古旗誠（招集者、目白）、内城恵（羽咋）、兼清啓司（神奈川）、願念望（白鷺）、栗原清（武蔵豊岡）、福島純雄（福島）、宮川経宣（大和郡山）。最初に組織が行われ、委員長に古旗委員、書記に兼清委員が選出された。

報告では、特に件数の多かった戒規適用申請について、多くの時間を割いて説明された。2023年度の新任教師オリエンテーションについて、主題は前総会期と同じく「伝道を共に担う教団の教師」となった。前総会期はコロナの影響によりオンラインで行われたが、今年度は対面をベースに計画することになった。感染予防の対策をしつつ熱海ハートピア

にて二泊三日で開催することとした。また「ハラスメントについて（仮題）」の講習が設けられることとなった。

2023年度の教師継続研修修会は、昨年の銃撃事件により世間でも大きな関心事となったカルトと宗教の問題を取り上げることとし、講師はカルト問題に詳しい川島堅二氏（東北学院大学）となった。開催方式はオンライン。教団立神学校及び教団認可神学校について、教師委員会が問答する日程が計画された。各校の神学教育に対する感謝を伝

事務局報

片柳貞貴（隠退教師）



23年1月3日逝去、81歳。東京都生まれ。03年

お知らせ

ウクライナ救援募金期間を2023年8月まで延長いたします。社会委員会委員長 柳谷知之

池田隆夫（隠退教師）



23年2月8日逝去、79歳。北海道生まれ。69年

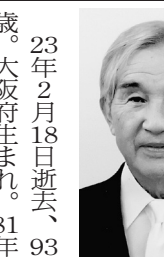
鈴木玲子（無任所教師）



23年2月12日逝去、89歳。東京都生まれ。89年

まで牧会。遺族は娘・足立麻里さん。

西川徳雄（隠退教師）



23年2月18日逝去、93歳。大阪府生まれ。81年

教会通信先設定

岩城 千794-2410
愛媛県越智郡上島町岩城1277-1 津田雅子方

正教師登録

川崎なおみ
(2023・1・29受按)
石田幸子、桐藤 薫
(2023・2・25受按)

補教師登録

佐藤貴仁
(2023・2・25受允)
教師異動
西原 就(代)花城静子

伝 道 報 告

伝道の
ともしび

七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。…イエスは言われた。「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」
ルカによる福音書第10章17節～20節

互いに触れ合う関係の中で

交野教会牧師・ひかりの子幼稚園宗教主事 高陽 鐘翼

今日の若い牧師の赴任によって、当時キリスト教がまだ珍しく、また若い牧師に対する人々の興味、そして中学生たちに英語を教えてやってほしいという町のニーズなどをきっかけにして少しずつ伝道が広がり、やがて聖書研究会がひらかれるようにまでなりました。その後も牧師、神学生たちの大変なご苦労により、現交野教会の基礎が築かれました。

1966年に教会はキリスト教保育を掲げた「交野教会付属ひかりの園」を設立。1970年に幼稚園は大阪府より学校法人化への指導を受け、それまでに掲げてきたキリスト教保育への思いを込めた「ひかりの子幼稚園」と名称を変更し学校法人として歩むことになりました。

教会も間もなく1975年に現会堂建築と共に宗教法人を取得し、これによって教会と幼稚園はそれぞれに大きく成長、変わるものになりましたが、従来の関係を忘れず大切にすることを



交野（かたの）教会の一昨年に新たに増築したばかりの集会室のウッドデッキは、隣接するひかりの子幼稚園に通園する子どもたちが電車の通過をいつまでも眺められる絶好の場所として大変人気です。この教会の創立は1954年の七夕、津田伝道所創立にさかのぼります。

ここは第二次世界大戦末期、大阪の空襲の際に大阪市内から疎開した教会員たちの一時的な日曜礼拝所だったのですが、終戦後は名前だけが残っていました。しかし神学部を卒業したばかりの若い牧師の赴任によって、当時キリスト教がまだ珍しく、また若い牧師に対する人々の興味、そして中学生たちに英語を教えてやってほしいという町のニーズなどをきっかけにして少しずつ伝道が広がり、やがて聖書研究会がひらかれるようにまでなりました。その後も牧師、神学生たちの大変なご苦労により、現交野教会の基礎が築かれました。

1966年に教会はキリスト教保育を掲げた「交野教会付属ひかりの園」を設立。1970年に幼稚園は大阪府より学校法人化への指導を受け、それまでに掲げてきたキリスト教保育への思いを込めた「ひかりの子幼稚園」と名称を変更し学校法人として歩むことになりました。

教会も間もなく1975年に現会堂建築と共に宗教法人を取得し、これによって教会と幼稚園はそれぞれに大きく成長、変わるものになりましたが、従来の関係を忘れず大切にすることを

教師検定試験公告

2023年秋季教師検定試験を左記の要領で行います。

- 一、受験要綱の申し込み
受験要綱と教団指定の願書用紙は165円切手を同封し、正教師受験志願者か補教師（A、B、Cコースの別も）受験志願者かを明記した上、封書でお申し込みください。
- 二、受験願書の提出
受験願書と必要書類を整えて、受験料とともに所属教区に提出してください。
- ①教区締切 2023年6月2日（金）
（教区により締切が異なりますので、教区事務所に確認してください）
- ②教団締切 2023年6月29日（木）
（各教区から教師検定委員会に提出する際の締切です）

*受験料は正教師1万3千円、補教師1万円。

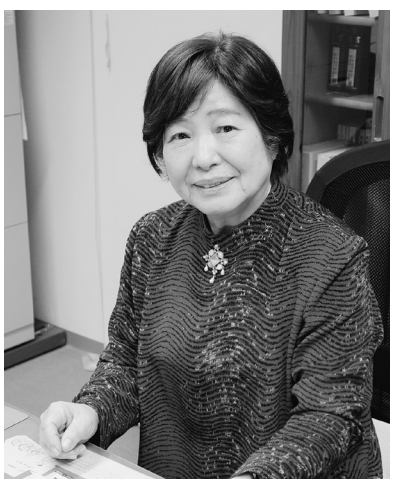
- 三、正教師「説教」「釈義」の課題テキスト
①旧約 イサヤ書35章1～10節
②新約 ヨハネによる福音書19章1～16節
- 四、正教師の「神学論文」の課題
『今日における宣教の課題』に、「特に」をめぐって」という副題をつけ、ご自分の伝道・牧会をふまえて神学的に論述してください。
- 五、正教師の「組織神学」の課題
『説教と聖礼典』について伝道する教会を視野に入れ、組織神学的に論じてください。
- 六、補教師「説教」「釈義」の課題テキスト
①旧約 ヨエル書3章1～5節
②新約 マタイによる福音書16章13～20節
*コースによって「説教」「釈義」の提出内容が異なりますので、必ず受験要綱で確認ください。
- 七、補教師（Cコース）の牧会学の課題
『牧会とは何か』について神学的に論述してください。
- 八、提出物締切について
当委員会への提出締切日は、「説教」「釈義」「神学論文」「組織神学」「牧会学」全て2023年6月30日（金）午前必着です。
- 九、学科試験・面接試験について
学科試験は9月12日（火）、面接試験は9月13日（水）、14日（木）に大阪クリスチャンセンターにおいて実施します。なお、新型コロナウイルス感染状況によっては、レポート試験、オンライン面接に変更することもあります。詳細は受験志願者に通知いたします。

2023年3月25日

日本基督教団教師検定委員会
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18-31
電話 03-3202-0546

ひととき
金刺 裕美さん

神と人ともに助けられて



上尾合同教会員

30年以上に渡って関東教区事務所で働く金刺裕美さんは、幼い頃、大宮で育った。工場を営んでいた父が、仕事仲間の保証人となったことで一家は大きな負債を背負う。裕美さんは高校卒業後、浪人をしてながら幼稚園でヘルパーとして働いた。この頃、駅で偶然、高校時代の友人と再会。友人はキリスト教に基づき幼児教育の教員養成を行う草苑学園の夜間に通っていた。この友人の強い勧めにより、免許取得を目指して入学を決めた。

初めてキリスト教に触れた裕美さんにとって、キリスト教に関する授業は全く分からなかった。「ついていけない」と思い退学を申し出たところ、先生から3か月、教会に通ってみてから判断するようにと言われ、大宮教会の門を叩いた。教会に通う中で主を信じて歩む人々の姿に接し、主イエスと共に歩むとはどういうことかを具体的に示された。卒業時に受洗、卒業後は上尾富士見幼稚園に就職した。友人が「橋渡し」をしてくれたと振り返る。

結婚、出産を機に幼稚園を辞め子育てに専念。40歳の頃、教区の事務職員を引き受けた。当初は教職の主事がいたが、途中から主事を兼任。教区の行事の準備、社会保険の手続き、牧師のケアなど多岐にわたる働きを担うようになった。真剣に祈るようになったのもこの頃からだという。祈りつつ励む中で、不思議なことに様々な助け手を与えられた。神は耐えられないような試練に遭わせないとの御言葉に支えられて歩んで来た。

教区で仕える中、何よりも経済的に厳しい教師が支えられることを願っている。月の初めにナルドの壺（互助）献金を教会に送り、教区のために部屋を提供してくれる大宮教会に感謝献金を届ける時、「橋渡し」をさせていたという喜びを覚えるという。

この3月をもって他の教会に転任される教師が多いうると思う。私は同じ所に長くいるため（4月に40年目を迎える）、近隣の教会に赴任された多くの教師と出合い、他の教会に転任される多くの教師を見送った。私が奥羽教区の教会に赴任した頃、ある先輩教師より、「先輩の教師から『君の骨は拾ってやるから』と言われた」と聞いた。骨になるまでこの地にとどまって伝道に励めということである。その先輩教師は、内心、「そう言われる先生の方が先に

骨になるんじゃないの？」と。思ったと話してくれたが、私もそう思った。実際、その後多くの先輩教師の葬儀に参列し、中には本当に骨を拾った先輩の教師に出会い、他の教会に転任される多くの教師を見送った。私が奥羽教区の教会に赴任した頃、ある先輩教師より、「先輩の教師から『君の骨は拾ってやるから』と言われた」と聞いた。骨になるまでこの地にとどまって伝道に励めということである。その先輩教師は、内心、「そう言われる先生の方が先に

骨は拾ってやるから

教師もいる。

教師の転任は神の召しによることであるが、当該教会にとってはつらい思いをすることであり、同じ地域で共に伝道に励んだ教師としてもさびしい思いがする。何よりも、教師が変わることによって教会の伝道や地域の教会との宣教協力が停滞しないかと気になる。教会の教師こそは、いつも次代の宣教を担う教師に、その働きを引き継ぐ備えをしておかなければならないと思う。自分自身隠退のことを考える年齢に近づき、そのことを強く思わされている。

今度、新たな出会いが与えられる教師には、「ぜひ先生に私の骨を拾ってほしい」と言おうかなと思ったりしている。

（教団総会議長 雲然俊美）